

令和7年度

第1回 愛媛県地域おこし協力隊導入強化勉強会-導入・募集・採用編-開催要領

1. 目的

地域おこし協力隊制度の創設から16年が経過し、隊員数及び受入自治体数ともに年々増加しており、総務省では令和8年度までに現役隊員を1万人とする目標を掲げ、より一層、取組みの強化を図ることとしている。

県内においても、人口減少が進み、地域の活力低下が危惧される中、地域力の維持・強化を図る仕組みである地域おこし協力隊制度の活用が進んでいる一方で、昨今の隊員希望ニーズの多様化や地域課題の複雑化等を踏まえ、協力隊希望者と募集・受入自治体とのマッチングの更なる向上に向けては、円滑に隊員を受け入れていく力を県全域として底上げしていくことが重要となってきた。

このため、地域おこし協力隊に関する導入・募集・採用についてのノウハウや事例を学ぶことを通じて、市町職員の制度理解を深めるとともに、その運用力を高める勉強会を開催する。

2. 主催

愛媛県

3. 運営

一般社団法人えひめ暮らしネットワーク（県内地域おこし協力隊経験者団体）

4. 開催日

日時：令和7年6月27日（金）13:30～16:40

場所：愛媛県総合社会福祉会館 3階 研修室

（松山市持田町三丁目8番15号）

※会場へのアクセスや駐車場について必ずHPをご確認ください

<https://ehime-shakyo.or.jp/access/>

5. 対象者

市町地域おこし協力隊担当職員（制度所管課及び受入担当課の職員）

6. 内容

第1回愛媛県地域おこし協力隊導入受入強化勉強会	
13:00-13:30	開場・受付
13:30-13:45	開会 ・ 主催者あいさつ（愛媛県地域政策課） ・ えひめ暮らしネットワークについて（代表：板垣義男） ・ オリエンテーション
13:45-14:40	【事例紹介】導入前におけるミスマッチを防ぐための取り組み事例 講師：西予市まちづくり推進課 中村奈央子氏 講師：南予移住マネージャー 山口聡子氏 内容： ・ 西予市の担当職員である中村氏から、導入～採用において特にミスマッチを防ぐ取り組みの事例について紹介 ・ 隊員経験者である山口氏の視点からの、ミスマッチを防ぐ取り組み事例の解説 ・ 会場からの質疑応答等
14:40-15:00	休憩

15:00-16:10	【意見交換】市町の制度運用状況の共有と意見交換 進行：一般社団法人えひめ暮らしネットワーク事務局長 千々木涼子氏 内容： <ul style="list-style-type: none"> 出張サポートデスク事業の事前アンケート結果の報告 事前アンケート結果をもとに意見交換を実施
16:10-16:30	【まとめ】地域おこし協力隊の導入・募集・採用におけるポイント 講師：総務省地域おこし協力隊サポートデスク専門相談員 鍋島悠弥氏 内容： <ul style="list-style-type: none"> 地域おこし協力隊の導入・募集・採用におけるポイントや、適切な制度運用のために自治体担当職員が担うことできる役割について事例を交えて講義
16:30-16:40	閉会

7. 講師及び進行

【講師】中村 奈央子 氏（西予市政策企画部まちづくり推進課 課長補佐）

西予市野村町出身。大学卒業後、県内で一般企業に就職し、平成14年度に地元である野村に帰り野村町役場に入庁。平成の大合併を経て西予市職員となり、産業課や議会事務局、教育委員会などに配属された後に、令和6年4月からまちづくり推進課で地域振興、主に移住施策、地域おこし協力隊業務を担当している。

【講師】山口 聡子 氏（南予移住マネージャー）

西予市出身。他拠点のフリーランスセラピストからUターンし地域おこし協力隊として活動。地域に多様な関わり合いを増やす「ぬか床をかきまぜる」役。西日本豪雨災害を機に、復旧・復興の現場でそれぞれの肩書きを活かしながら、出来るコトに取り組む。卒業後は、地域や移住関連の法人に関わり、2021年4月から、南予移住マネージャーに着任。コワーキングハブ南予サインを拠点に活動中。

【講師】鍋島 悠弥 氏（総務省地域おこし協力隊サポートデスク専門相談員）

大阪府出身。2012年4月より愛媛県今治市上浦町（大三島）地域おこし協力隊として活動。3年間の任期満了後、上浦町盛集落に定住し、自治組織の役職である盛総代場使丁に就任。総務省が主催する地域おこし協力隊初任者研修／ステップアップ研修に、2015年より現在に至るまでアドバイザーとして継続的に参加。2020年、愛媛県の移住促進及び地域おこし協力隊のサポートを主業務とする一般社団法人えひめ暮らしネットワークの設立に携わり、副代表就任。2022年、総務省地域おこし協力隊サポートデスク専門相談員就任。2023年、総務省地域力創造アドバイザー及び地域おこし協力隊アドバイザーに就任。

【進行】千々木 涼子 氏（一般社団法人えひめ暮らしネットワーク事務局長）

北海道出身。2017年4月より愛媛県今治市吉海町（大島）地域おこし協力隊として活動。任期中は地域行事や地域活性化事業の支援のほか、マルシェイベントの企画運営などに従事。任期中から兼業でイベント出店などを重ね、任期終了後の2020年4月、活動地域であった吉海町内に本と自家焙煎珈琲の店「こりおり舎」を開店。2022年には簡易宿泊の受け入れも開始し、地域内外の人に開かれた場づくりを行う。また、（一社）えひめ暮らしネットワークの事務局長を務める。

8. 研修後のアンケート

研修終了後、以下のURLよりアンケートの入力をお願いします。

（インターネット） <https://logoform.jp/form/XG6n/1051651> （右記QRコード）

（LWAN） <https://tb.logoform.st-japan.asp.lgwan.jp/form/XG6n/1051651>

